

市と芦別商工会議所が新年交礼会を開催



1月4日、市と芦別商工会議所が共同で主催する「令和6年新年交礼会」が総合福祉センターで行われ、市内の企業や団体などの代表ら延べ131人が会場に集まり、新年のあいさつを交わしました。

冒頭、主催者を代表してあいさつに立った荻原貢市長は「縮充（必要

なものを選択し、縮小しながらも行政サービスを充実させること）と連携をキーワードにオール芦別でまちづくりを進めていきたい」と述べていました。

会場では、北村真市議会議長の乾杯による、コロナ禍以来4年ぶりの祝宴も行われました。

技術向上目指し中学生が、バレーボールキャンプを実施

北海道バレーボール協会主催による「第50回北海道ジュニアバレーボールキャンプ（2次）」が、1月5日から11日の7日間の日程で市総合体育館などで行われました。

昨年は、行動制限のあったジュニアキャンプでしたが、今年はコロナ禍前のように制限のないキャンプと

なりました。

道内の中学生を対象に、3つのグループに分かれて1グループ2泊3日で合宿し、女子の1班及び2班40チーム425人が1月5日から9日、男子29チーム311人が9日から11日で、あわせて69チーム736人が参加しました。



無火災、安全安心なまちづくり目指して消防出初式



1月7日、総合福祉センターで小雪が舞うなか、令和6年芦別消防出初式が開催されました。

安心安全で災害のないまちづくりを目指し、消防署職員と団員の士気高揚や連携強化、職務遂行への決意を新たにするための恒例行事です。

芦別消防署職員・団員合わせて

135人と11台の消防車両が参加。

一番街通りでの分列式から始まり、続いて総合福祉センター駐車場で開会式と観閲（=写真=）が行われました。その後、同センターの大ホールで式典が開催され、各種表彰が行われ、70人の団員に表彰状が授与されました。

第8回芦別ネイチャークラブ実施、スノーシューで冬山散策

1月14日、林業振興協議会が市内の様々な場所で自然体験活動を行うネイチャークラブを開催しました。

この協議会は、林業振興や木の普及を目的に設立されました。

今回は、スノーシューを使用して冬山散策をするスノーシューハイキングを実施しました。

参加者は10人で、事務局で木育マイスターの新村充さんがガイドを務めました。

木々の中で越冬する虫や、常緑樹のトドマツが鹿の休憩場所や寝床になっていることなどの解説があり、目的地の上金剛山展望台を目指しました。

